

環境省

環境大臣 山本 公一 様

抗議文

紅葉の候 貴殿におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、本年 3 月に貴省が実施しようとした塩谷町内の戸別訪問につきましては「塩谷町からの不安や反発の声があったため中止した」ということであり、私たち町民の不安な気持ちを理解していただけたのかと安心したところでありました。しかし、今回、私たちの不意を打つように戸別訪問が実施されております。

現在、貴省が実行している戸別訪問は、塩谷町民の意見を聞きたいという貴省の訪問主旨の下に進められているとのことですが、その意に反して町民に不安と混乱を与えているだけです。

これまで環境省に対し当会からも、ただ反対しているわけではない、詳細調査候補地の選定基準や詳細調査の項目・実施方法について不安があるから反対していると訴えてきたつもりです。説明会にしても塩谷町だけに行うのではなく、指定廃棄物最終処分場建設を栃木県全体の問題として栃木県民全員を対象に行うなどし、まずは、指定廃棄物の問題は塩谷町だけの問題ではないという意識を県民に植え付け、その上で議論を進めるべきであると、私たちなりにお話ししてきたつもりです。しかし、私たちの不安を払拭していただけるようなことは一切何もしていただけていませんでした。

大臣は今回の戸別訪問により本町民がどれだけ不安な思いをしているかご想像できますか。本町民にとって戸別訪問というのは大臣が考えているほど簡単なものではありません。環境省の職員が自宅に来る、そこで何を話されるのか、どのように対処すればいいのか、それを考えただけでも町民は不安でいっぱいになってしまいます。特に高齢者の方は不安が募り、家にひとりでいることがいやだという方まで現れてしまいました。

ここまで町民を不安にさせ、その上、詳細調査をやらせていただきたいと発言できることを私たちは理解できません。

よって、今後、一切の戸別訪問を行うことのないよう強く抗議をいたすとともに、貴省職員の塩谷町内への立ち入りについて拒否いたします。

平成 28 年 10 月 28 日

塩谷町民指定廃棄物最終処分場反対同盟会
会 長 君 島 勝 美